

会 議 録

会 議 名	令和 7 年度第 1 回野田市児童福祉審議会
議 題 及 び 議 題 ご と の 公 開 又 は 非 公 開 の 別	<p>[議題]</p> <p>(1) 会長及び副会長の選出について (公開)</p> <p>(2) 野田市エンゼルプラン第 5 期計画中間見直しの進捗状況について(報告) (公開)</p> <p>(3) 野田市ひとり親家庭支援総合対策プラン(第 4 次改訂版)の進捗状況について(報告) (公開)</p> <p>(4) 野田市こども計画の進捗状況について(報告) (公開)</p>
日 時	<p>令和 7 年 8 月 6 日 (水)</p> <p>午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 1 時 0 0 分まで</p>
場 所	野田市役所高層棟 8 階 大会議室
出 席 委 員 氏 名	<p>会 長 小林 幸男</p> <p>副会長 渡邊 妙美</p> <p>委 員 川鍋 友江、篠塚 功、小亀 春奈、鈴木 朋子、 渡辺 竜太、小倉 幸雄、古屋 真由美、深井 祐輔、 古橋 和夫、藤本 司、張替 智子、越川 克広</p>
欠 席 委 員 氏 名	<p>委 員 瀧川 雅子、米本 美香、荒山 隆、森山 ますみ、 小熊 良</p>
事 務 局 氏 名	<p>鈴木 有 (市長)、今村 繁 (副市長)、代田明洋 (健康子ども部長)、小嶋 亮 (総務部次長兼人事課長)、内田一也 (健康子ども部次長兼児童家庭課長)、池田文彦 (交通政策室長)、田嶋秀志 (企画調整課長)、内海孝幸 (危機管理課長)、須賀良平 (市民生活課長)、茂木嘉則 (みどりと水のまちづくり課長)、茂木大介 (スポーツ推進課長)、里見 秀 (生活支援課長)、大月加奈子 (障がい者支援課長)、武田真弓 (人権・男女共同参画推進課長)、宮下幸治 (子ども保育課長)、海老原純一 (子ども家庭総合支援課長)、秋鹿弥由紀 (保健センター長)、大久保崇雄 (教育総務課長)、加藤純子 (興風図書館長)、廣居信和 (学校教育課長)、岡田勇貴 (学校教育部主幹兼子ども家庭総合支援課分室長)、小澤映典 (秘書室副主幹)、西野寛史 (情報政策課長補佐)、岩田耕平 (営繕課長補佐)、白石光孝 (商工観光課長補佐)、山崎正浩 (児童家庭課長補佐)、古瀬奈津代 (保健センター長補佐兼子どもの発達相談室長)、中村恵子 (生涯学習課長)</p>

	補佐）、宮嶋理恵（指導課副主幹）、西山修一（児童家庭課子育て支援係長）、榎本由香梨（児童家庭課児童給付係長）、山崎由紀（児童家庭課児童給付係主査）
傍 聴 者	3名
議 事	会議結果（概要）は次のとおりである。
司 会	令和7年8月6日午前10時、令和7年度第1回野田市児童福祉審議会の開会を宣言した。
市 長	会議の成立及び公開について報告した。
司 会	会議録作成のための録音及び傍聴について了承を得た。
司 会	会議資料について説明した。
市 長	市長挨拶を求める。
司 会	<市長挨拶>
司 会	改選後初めての会議であることから、各委員を紹介した。
司 会	<委員紹介>
司 会	改選後初めての会議であることから、議長決定までの間、市長に仮議長をお願いしていることを報告した。
仮 議 長	野田市児童福祉審議会条例第4条第1項の規定により、会長及び副会長の選出は「委員の互選による」と定められているが、その選任方法について何う。
小 倉 委 員	指名推薦はいかがか。
仮 議 長	指名推薦の意見があったが異議はないか。
仮 議 長	<異議無しの声あり>
仮 議 長	異議がないため、指名推薦により行うこととする。
越 川 委 員	会長になる方の推薦をお願いする。
越 川 委 員	会長は、議事が可否同数の際に決する立場である。本審議会には様々な団体から委員が集まっているので、中立的な方に会長を務めていただきたい。
仮 議 長	ただ今の御意見も踏まえて推薦をお願いする。
小 倉 委 員	野田市社会福祉協議会の小林幸男委員にお願いしたい。
仮 議 長	小林幸男委員との推薦があったが異議はないか。

仮 議 長	<p><異議無しの声あり></p> <p>異議がないため、会長は小林幸男委員を選出する。</p> <p>会長が決定したため、議長を交代する。</p> <p>小林委員へ、席の移動と会長就任挨拶をお願いする。</p>
会 長	<会長就任挨拶>
会 長	副会長になる方の推薦をお願いする。
小 倉 委 員	野田市母子寡婦福祉会の渡邊妙美委員にお願いしたい。
会 長	渡邊妙美委員との推薦があったが異議はないか。
	<異議無しの声あり>
会 長	異議がないため、副会長は渡邊妙美委員を選出する。
	渡邊委員へ、席の移動と副会長就任挨拶をお願いする。
副 会 長	<副会長就任挨拶>
会 長	議題 2 野田市エンゼルプラン第 5 期計画中間見直しの進捗状況について(報告)
	事務局からの説明を求める。
司 会	市長が公務により退席する旨を告げる。
	<市長退席>
子育て支援係長	<事務局説明>
会 長	説明があった内容について、各委員に質疑及び意見を求める。
越 川 委 員	資料 36 ページ、事業番号 170「子ども医療費助成制度の推進」について、6 年度決算額が約 6 億 5,400 万に対して、表の中の実績額が約 6 億 3,600 万となっている。金額に差が生じている理由を教えていただきたい。
児童家庭課長	医療費を助成した金額が約 6 億 3,600 万となっており、その他にシステム使用料や通信運搬費など必要経費を含めた金額が約 6 億 5,000 万となっている。
会 長	ほかに質疑、意見があるか伺う。
	<質疑・意見無し>
会 長	ほかに質疑・意見がないので、次の議題に移る。
	議題 3 野田市ひとり親家庭支援総合対策プラン(第 4 次改訂

子ども保育課長	<p>令和6年度末の定員 2,574 人に対して入所実績は 2,600 人となっており、充足率は 101 パーセントと、120 パーセントまで受けられる弾力的運用を活用しながら対応している。待機児童については、4月1日時点では5年連続で待機児童ゼロを達成することができたが、年度途中の申込みもあり、年度末に向けて待機児童が発生している状況である。令和7年4月には thanka 幼稚園のたほくぶが認定こども園化したことで、定員が 2,706 人の増加しており、4月時点の入所実績は 2,573 人、充足率は 95.1 パーセントとなっている。年度末に向けて新たに1歳を迎えるお子さんなどの申込みが増えていることから、下半期についても弾力的運用の活用を継続していくとともに、令和9年4月には岩木幼稚園が認定こども園化することから、保育の量を増やすことも併せて実施していく。弾力的運用を活用しながら、社会情勢の変動や宅地開発の状況を踏まえて、既存幼稚園のこども園化を検討するなど、引き続き待機児童対策を進めていく。</p>
渡辺 竜太 委員	<p>保育士の確保が進むことで更に受入れの枠を増やすことはできないのか。</p>
子ども保育課長	<p>施設の面積に余裕がある一方、保育士不足が課題となっている保育所もあることから、保育士の確保が進めば弾力的運用を活用して更に受入れ枠を拡大することができると考えている。</p>
渡辺 竜太 委員	<p>資料 20 ページ、事業番号 127 番「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施」について、現在、市内では二つの事業者が実施しているが、需要が増えた場合の対応など、乳児等通園支援事業を今後どのように進めていくのか教えていただきたい。</p>
子ども保育課長	<p>令和6年度は試行的事業として、令和7年度は任意事業として実施しており、令和8年度からは国の給付事業として全ての自治体で実施される事業である。市内では二つの事業者で実施しているが、需要が増えておりキャンセル待ちも出ていると聞いている。ニーズを把握しながら整備を進めていきたいと考えているが、国から利用可能時間や負担割合、利用料などが示されてい</p>

越 川 委 員	<p>いことから、引き続き情報収集に努めていく。</p> <p>資料の一番右の列に予算額が記載されているが、金額の記載がない事業がある。これはこども計画に関する部分の予算が無いものという認識で良いか。</p>
児童家庭課長	<p>こども計画に関する部分の予算がないものではなく、啓発事業などでそもそも費用がかからない事業であるため予算額を記載していないものである。</p>
会 長	<p>ほかに質疑、意見があるか伺う。</p> <p>＜質疑・意見無し＞</p>
会 長	<p>ほかに質疑・意見がないので、以上をもって全て議題が終了した。</p> <p>議事終了につき、議長の任を解く。</p> <p>午前 11 時、閉会を宣言した。</p>